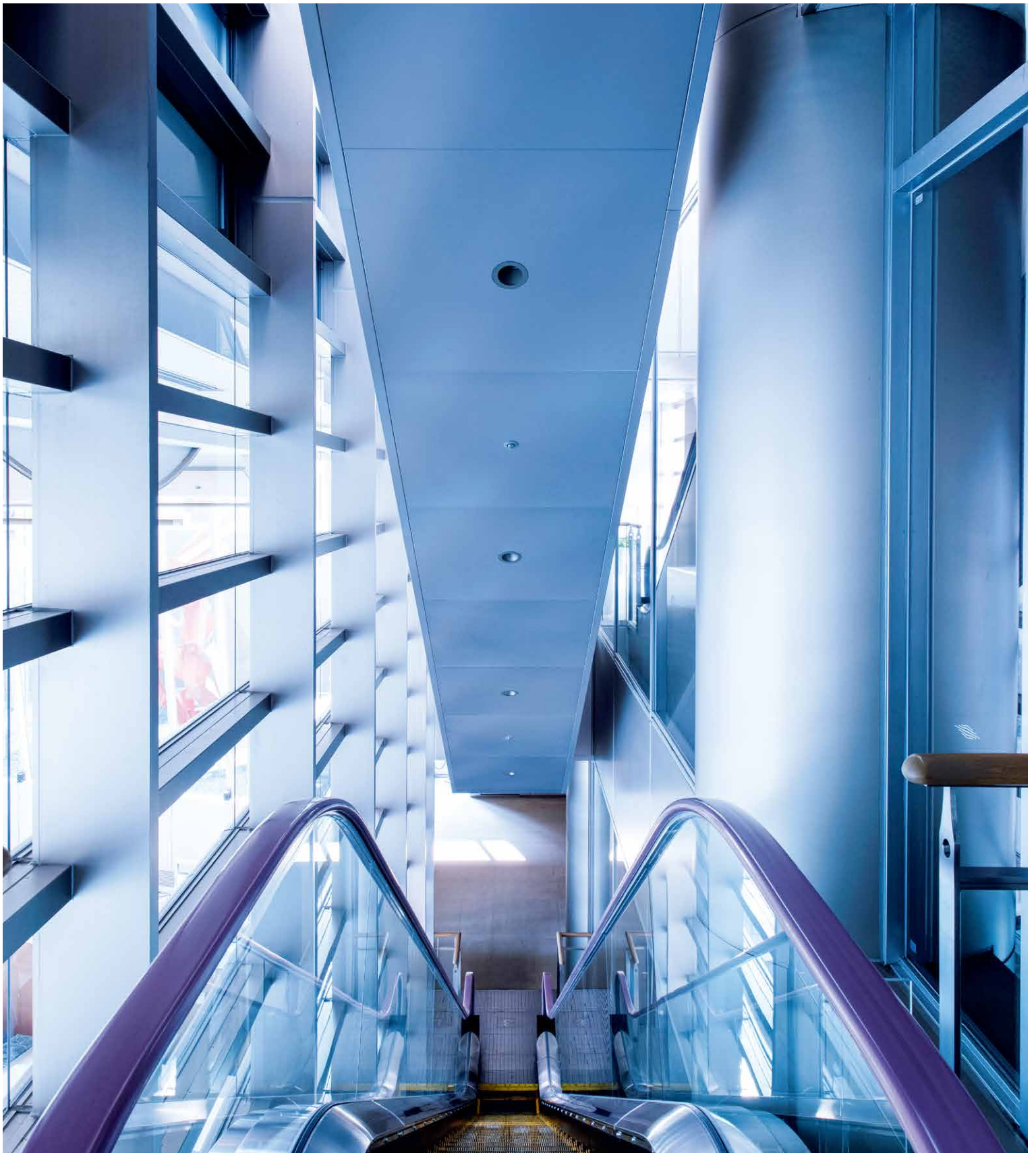
Mite Mite

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2022- winter
VOL. 71

開館25周年

AUBADE HALL



オーケストラ・アンサンブル金沢

三ツ橋 敬子

©大杉隼平

AUBADE SYMPHONIC WAVE 2022

華麗でダイナミックなオーケストラとの競演。

2022年2月20日、ポップス&オーケストラによる音楽の祭典「AUBADE SYMPHONIC WAVE 2022」が初開催となります。指揮は国内外で活躍中の三ツ橋敬子さん。そして、管弦楽は国内・欧州の名手たちが結集したオーケストラ・アンサンブル金沢。華麗でダイナミックなオーケストラと競演するのは日本のポップスシーンを飾るアーティストたち。出演者のお一人、KANさんに近況や本公演への思いについてメールインタビューを行いました。

KAN *interview*

——KANさんといえば、「愛は勝つ」（1990年リリース）など、楽しく心に沁みる音楽を制作されておられます。現在はどのような活動をされていますか？

バンド・弾き語りのツアーを交互に開催する他、弦楽四重奏とのツアー、オーケストラとの共演など、様々なスタイルでのコンサートを行なっています。また、2020年8月からは、馬場俊英くんとコンビを組んで配信ライブシリーズを隔月で開催中。最新オリジナルアルバムは『23歳』。

——KANさんのピアノ演奏やオーケストラアレンジからはクラシック音楽への愛を感じます。普段はどのようなクラシック音楽を聴かれますか？

小学1年からの8年間、クラシックピアノを習いました。その後は、ロック・ポップスばかりの生活でしたが、2002年から2年半暮らしたフランス・パリで、Ecole Normale de Musique de Parisに入学しピアノを基礎から学び直します。この時期、パリや周辺諸国で多くのクラシックのコンサートを鑑賞しました。オーケストラの編曲については、専門的な教育は受けておらず、あくまで経験からの自己流です。普段の生活でクラシックを聴くことはあまりありませんが、好きな作曲家はチャイコフスキーです。

KAN

本名：木村和（きむらかん）　1962年9月24日生まれ。1987年、アルバム『テレビの中に』でデビュー。2002年春からフランス・パリに移住し、【Ecole Normale de Musique de Paris】に留学。Marc André氏に師事し、ピアノ科 3ème division（non-professionnelle）を修了。2004年夏の帰国後は、バンド・弾き語りをはじめ、自身の編曲による弦楽四重奏やオーケストラとの共演など、様々なスタイルでの活動を展開中。富山空港からツポレフ機でウラジオストックへの渡航経験がある航空マニア。好きな食べ物は香箱蟹。

www.kimuraKAN.com

——ポップスシンガーで、フルオーケストラの作曲・編曲をされている方は稀有な存在だと思います。KANさんの目指す先は？ 今後、交響曲（シンフォニー）の作曲などのお考えはありますか？

90年代、自身の曲の弦編曲は、鍵盤で3声くらいのライン・ハーモニーを作り、共同編曲者の小林信吾さんに仕上げてもらっていましたが、99年からすべての編曲を自身でやるようになりました。他のアーティストの皆さんも、経験を積めばやれることだと思いますが、“オーケストラ”という響きに、何らかの抵抗があるのではないかと思います。

「交響曲を書きたい」という思いはかなり前からあります。音楽家として、やはり、指揮棒をふりたい、という気持ちが昔からあり、その為にはクラシックの名曲ではなく、自身の頭の中にだけ完成形がイメージされる自作の交響曲が必要だと考えています。と同時に、楽曲・編曲の中に複数の笑いが仕込まれたオーケストラ・コントを作りたいと思っています。

——オーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）とは何度か共演されていますが、魅力や見どころを教えてください。今回はKANさんのオーケストラアレンジが聴けるのでしょうか？

先に書いたように、私の編曲はあくまで自己流なもんですから、OEKさんとの複数回の共演機会はとても重要な経験で、いろいろと学ばせていただいています。せっかくの機会なので、今回も自身で編曲させていただきたいと思っています。

——今回の出演者の方々と過去に競演されたことはありますか？

みなさん、何らかのイベントで御一緒させていただいた方ばかりで、すごく久しぶりの方もいらっしゃいますので、とても楽しみです。

——今回同じく出演されるASKAさんとはコラボレーション作品をいくつか作られていますが、その経緯などお聞かせください。同郷（福岡出身）で、幼少期には一緒に遊んだこともあるとか？

私がまだ小学生になるかならないかくらいのことなので、記憶には残っていませんが、ASKAさんに何度か遊んでいただいたことは事実のようです。その事実を認識するずっと前から、私はASKAさんのファンで、2010年に私からお願いして、念願かなって楽曲を共作させていただきました。その後も、イベントでの共演など、公私共にいろいろとお世話になっています。

——オーバード・ホールで歌うお気持ちは？

2015年10月に、FMとやま30周年記念ライブで、一度演奏しました。ステージからの景観が素晴らしいホールで再び演奏できることを楽しみにしています。

——富山の印象はいかがですか？

国内唯一の河川敷空港は、航空マニアの私にとって特別に魅力的で、また空港に「きときと」とネーミングするセンスも大好きです。富山に限らず、日本海側は何か引き寄せられるものがあり、毎度訪れるのが楽しみです。

——読者・ファンにむけてメッセージをお願いします。

とても希少なコンサートになると思います。ぜひ観にいらしてください。

KANさんに一問一答 10の質問

❶ 今回演奏される曲を教えてください。
現段階では確定していませんが、『愛は勝つ』は必ず演奏するでしょう。

❷ デビューされるまでに影響を受けた（好きな）音楽アーティストは？
The Beatles、Billy Joel、Stevie Wonder、Hall & Oatesなどの洋楽。

❸ 今、（ご自身の曲以外で）一番好きな曲は？
「一番」というのは難しいですが、ここ12年は、Perfumeときゃりーぱみゅぱみゅさんの中田ヤスタカ作品ばかりを聴きつづけています。

❹ 今、一番好きなご自身の曲は？
これも「一番」というのは難しいですが、『23歳』と『メモトキレなガール』です。

❺ オーケストラとの共演での醍醐味は？
いくら頭の中でイメージを広げて編曲しても、実際に演奏していただかないことには、それがどうなっているのか確認できない、というスリル、です。

❻ 一番好きな楽器は？
やはり「一番」というのは難しいですが、管楽器ではオーボエ、弦楽器ではヴィオラ。憧れるのはチェロです。

❼ これまで行った外国で一番好きな国は？
だから「一番」ってのはないって言ってるでしょ。ここ10年はロシア語圏に興味があり、旧ソ連構成国15のうち11カ国を訪れました。人種も宗教も文化も異なる国々を体感することが旅の楽しみです。

❽ 行ってみたい国は？
イスラエル、または、バルカン半島、旧ユーゴ圏の国々。

❾ 好きな食べ物は？（3つ教えて）
冬の小さめの生牡蠣。生地の薄いピザ。分厚くないとんかつ。

❿ 今後のコンサートや、新曲発売の予定は？
2022年3月上旬まで『弾き語りばったり #31+ 小さい土器みつけた』全国ツアー中。新曲は未定です。

公演情報

令和3年度富山県企業メセナ文化ホール事業　特別協賛：トヨタモビリティ富山株式会社

オーバード・ホール開館25周年記念

AUBADE SYMPHONIC WAVE 2022

◆日時：2022年2月20日（日）15:00開演
◆会場：オーバード・ホール

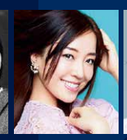
指揮：三ツ橋 敬子
管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

出演

ASKA

八神純子

KAN


平原綾香

東儀秀樹

石崎ひゅーい

尾崎裕哉

◆チケット：［全席指定・税込］
一般：7,000円　U-25：3,000円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※未就学児入場不可。

◆プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めは P11「チケット購入方法」をご覧ください。

※やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

公演中止

当公演は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響により、渡航制限緩和の見通しが立たないことから、大変残念ではございますが公演を中止せざるを得ない状況となりました。公演を心待ちにしてくださっていた皆様には心からお詫び申し上げますと共に、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

世界最高峰、若き覇者たちのショパン

ポーランド、ワルシャワで5年に一度開催される、ショパン国際ピアノ・コンクール。2021年10月、その第18回が行われ、コンクールの歴史に名を刻む新たな入賞者たちが誕生しました。

そして1月28日、優勝したブルース・リウをはじめとする7名の俊英たちが、入賞者ガラ・コンサートのため富山に集結。オーバード・ホールの開館25周年と2022年の幕開けを飾るニューイヤーコンサートにおいて、世界最高峰の舞台で認められたショパンを披露します。

今回のショパン国際ピアノ・コンクールは、当初2020年10月に予定されていたところ、パンデミックの影響により、1年の延期の末に開催されました。参加者にとっては、それだけ準備期間が長くなったということ。その影響もあってか、ピアニストたちそれぞれがじっくりと磨き上げた自分だけのショパン像を、確信をもって伝えてくれる場面に多く出会うことができました。

そんな今回のコンクールで頂点に輝いたのが、中国系カナダ人の24歳、ブルース・リウです。

卓越したテクニック、次の瞬間に何が起きるかわからないライヴ感あふれる音楽づくり、明るいエネルギーに満ちた演奏で、ステージごとに客席を熱狂させました。なかでも、聴くうちに気持ちが高揚してくるような舞曲の表現には、特別なものがあります。

今回のガラ・コンサートでは、コンクールのファイナルで演奏したピアノ協奏曲第1番を披露。第1楽章や第2楽章における、若きショパンの夢や憧れの描写も魅力ですが、特に期待したいのは、終楽章。ポーランドの舞曲に由来するマズルカが多用されたこの楽章では、卓越したセンスとリズム感が生かされた、エネルギッシュな音楽を聴かせてくれるでしょう。

第1位
ブルース・リウ
演奏曲：ピアノ協奏曲第1番　ホ短調　Op.11

Bruce Liu

反田恭平と第2位を分けたアレクサンダー・ガジェヴは、ロシア人の父とスロベニア人の母、ともにピアニストという両親のもと、イタリアに生まれた26歳。2015年浜松国際ピアノコンクールの優勝者でもある、大の親日家です。

今回のショパン国際ピアノ・コンクールでは、クリスチャン・ツィメルマンから贈られる特別賞であるソナタ賞も受賞。思索した末の音楽にその場のインスピレーションを盛り込んだ、生きた音楽を創るピアニストです。ガラ・コンサートでは、中規模の作品ながら壮大なドラマを内包するバラード第4番で、無限に広がる想像力を発揮するでしょう。

第2位・ソナタ賞
アレクサンダー・ガジェヴ
演奏曲：バラード第4番　ヘ短調　Op.52

Alexander Gadjiev

©Darek Golik/NIFC

続く第3位となった、スペインのマルティン・ガルシア・ガルシアは、自由でエモーショナル、歌心あふれる表現で、現地はもちろんインターネットを通じて聴いていた多くの聴衆の心も掴んだピアニスト。演奏するのは、即興曲第3番と「英雄ポロネーズ」。息の長い歌と幸福感を帯びた音楽に、大いに期待できそうです。

第3位・コンチェルト賞
マルティン・ガルシア・ガルシア
演奏曲：即興曲第3番　変ト長調　Op.51
ポロネーズ第6番　変イ長調　Op.53「英雄」

Martin Garcia Garcia

©Darek Golik/NIFC

第4位、ヤクブ・クシリックは、自身のピアノ音楽の原体験であるショパンに特別な気持ちで向き合い続けてきたという、ポーランド人唯一の入賞者。マズルカの優れた演奏に贈られる「マズルカ賞」も受賞しました。今回は、ショパンの哀しくも美しいファンタジーが込められた「幻想曲」Op.49を演奏します。

第4位・マズルカ賞
ヤクブ・クシリック
演奏曲：幻想曲　ヘ短調　Op.49

Jakub Kuszlik

そしてもう一人の第4位が、日本の小林愛実。ファイナリストとなった6年前の前回に続く2度目の挑戦で見事入賞を果たし、メディアでも大きく取り上げられました。自分だけのショパンを追い求め、見つけたものを丁寧に紡いでいく、強い想いが伝わる演奏。ガラ・コンサートでは、セミファイナルで高く評価された「24の前奏曲」の抜粋を届けます。

第4位
小林愛実
演奏曲：24の前奏曲　Op.28 より抜粋

Aimi Kobayashi

イタリアのレオノーラ・アルメリーニもまた、今回が11年前に続く2回目の挑戦で、第5位に入賞。おおらかで明るく愛にあふれ、ショパンの苦悩や哀しみさえあたたかく包み込むようなピアノが魅力です。夜想曲第13番とワルツ第2番「華麗なる円舞曲」で、ワルシャワの聴衆から支持されたその音楽を披露します。

第5位
レオノーラ・アルメリーニ
演奏曲：夜想曲第13番　ハ短調　Op.48-1
ワルツ第2番　変イ長調　Op.34-1「華麗なる円舞曲」

Leonora Armellini

そして第6位、最年少入賞者となった、カナダのJ J ジュン・リ・ブイ。17歳の若さにして奥行きのある音楽を奏で、今後の変化、活躍も楽しみなピアニスト。ショパン若き日の「マズルカ風ロンド」とマズルカOp.24-1で、深く優しい音、メランコリックなところのある豊かな音楽性を存分に発揮してくれるでしょう。

第6位
J J ジュン・リ・ブイ
演奏曲：マズルカ風ロンド ヘ長調　Op. 5
マズルカ第14番　ト短調　Op.24-1

J J Jun Li Bui

ニューイヤーコンサート2022
第18回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者 ガラ・コンサート

NEW YEAR 2022 GALA CONCERT
18th CHOPIN Piano Competition

オリジナリティやはっきりとした主張、明るい音楽性が高く評価される傾向にあり、華やかな個性の競演となった、第18回ショパン国際ピアノ・コンクール。ガラ・コンサートでは、その3週間にわたる祭典が凝縮され、一夜にして実に多様なショパンを聴くことができます。新しい時代を感じさせる入賞者たちが、それぞれのショパンを奏で、私たちに、さまざまな発見と感動を与えてくれるでしょう。

コンクールのインターネット配信を聴いてお目当てのピアニストがいる方も、そうでない方も、生演奏ならではの出会いを楽しみに、ぜひ会場へ！

高坂はる香（音楽ライター）

指揮／現田茂夫

© K.Miura

管弦楽／大阪交響楽団

〈ポーランド国立ショパン研究所 公式YouTubeチャンネル〉
今回のショパン・コンクールのアーカイブ映像などがご覧いただけます。

公演情報

オーバード・ホール開館25周年記念
ニューイヤーコンサート2022
第18回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者 ガラ・コンサート

公演中止

チケット払い戻し方法等の詳細は、
オーバード・ホール公式HPをご確認ください。

記載以外の写真すべて©Wojciech Grzedzinski/NIFC

3年ぶりの開催！

音楽とアートのお花見会

楽市楽座

Raku-Ichi Raku-Za

アート・ショーケース②

“楽”に観て、聴いて、“楽しく”体感！
音楽・演劇・パフォーマンス・ライブペイント・ダンスなど、
ジャンルを超えたアートがあちらこちらでカオスとなって
繰り広げられるオーバード・ホールの感謝祭です。
この誌面では楽市楽座で行われる公演の2つをご紹介します。
他にもホワイエなどでは様々なアーティストが出演。
お好きな場所で楽しめる、まさにお花見みたいな
新しい形の観劇・鑑賞スタイル。ぜひ、お楽しみください。

日時：2022年3月26日（土）、27日（日）
会場：オーバード・ホール
（舞台上、ホワイエを中心とした周辺）
入場無料　※下記に掲載の2つの公演は、有料となります。
◎無料公演の詳細は、オーバード・ホールHPで近日UPします。お楽しみに！

舞台上《有料》

小野寺修二 構成・演出

想像力を刺激するダンス！

小野寺修二カンパニーデラシネラ

「ふしぎの国のアリス」

出演：カンパニーデラシネラ
崎山莉奈、藤田桃子、大庭裕介、荒 悠平、王下貴司、斉藤 悠、仁科 幸、小野寺修二

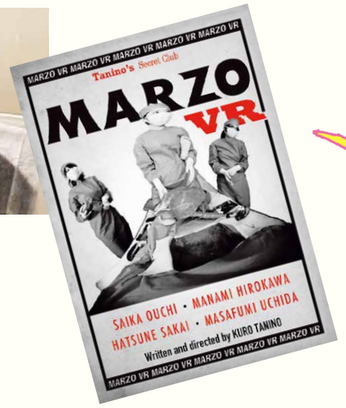
マイムの動きをベースにした独自の演出で、世代を超えた観客層の注目を集める小野寺修二。シニカルな笑いを交えたストーリーを展開しながら、シンプルな舞台装置とダンサーの身体によって空間を動かし想像力を刺激します。大人も子どもも一緒に楽しめるテンポの良い作品にご期待ください。

◆日時：3月26日（土）①14：00 ②18：00 ／ 27日（日）③14：00
◆会場：オーバード・ホール 舞台上特設シアター
◆チケット：［全席指定・税込］
おとな：3,000円　こども：1,000円（高校生以下）
※4歳未満入場不可。

秘密《有料》

タニノクロウ 作・演出・監督

秘密の場所で、新感覚のVR映像を体感！



タニノクロウ秘密倶楽部

「MARZO VR」

出演（映像）：大内彩加、廣川真菜美、坂井初音、内田倭史

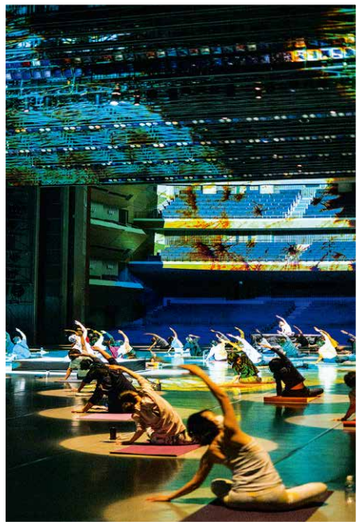
ある日あなたは病室で目を覚ます。
見知らぬ看護師姿の女性たちに囲まれている。
甲斐甲斐しく身の回りの世話をしてくれる彼女たち。
どうやら何か重い病気にかかっているのか？
妙な薬を無理やり飲まされると、身体が動かなくなってしまう。
すると女性たちは不敵な笑みを浮かべ、手術室へあなたを運び出す。
次は何をされるのか…。新感覚の体験型VR映像作品。
※VRゴーグルを装着して観ていただく作品です。

◆日時：3月26日（土）／ 27日（日）
11時・12時・13時・14時・17時・18時・19時（各日）
◆会場：オーバード・ホール内秘密の場所
◆体験時間：約30分
◆チケット：2,000円（税込）
※15歳以上推奨
※開演10分前までにご来場ください。

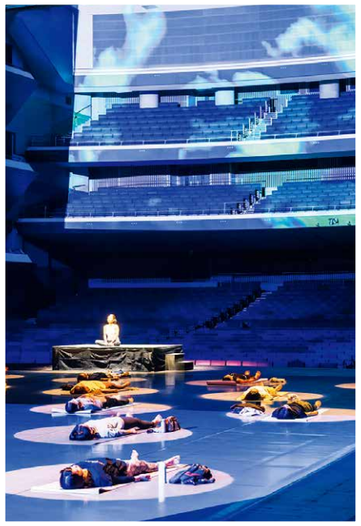
◆有料公演チケット発売日：
アスネット会員先行：1月22日（土）のみ／一般発売：1月30日（日）～

◆プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。

舞台の上で、自分と向き合う。


あえて低くおろしたバトンに映像を投影

2021年10月。舞台上でヨガをするという、全国でも珍しいイベント「シアターヨガ」を開催しました。初・中・上級者向けのバラエティ豊かな4クラスに参加したのは、10~70代まで幅広い年齢層180名の皆さん。照明と映像で演出された空間に身を置き、生演奏に包まれてのヨガは格別だったようです。更衣室として楽屋をご利用いただいたり、舞台にあがる導線にも工夫を凝らしたり、劇場のバックステージも楽しんでいただけるようにしました。大好評をいただき、来年度も開催が決定！ 次回は、さらにグレードアップします。ぜひ、お楽しみに！


ゆっくりとうつりかわる映像

参加者ひとりひとりのスポットライト

映像と、光と、音楽を身体で感じることができる空間

ヤマダベンさんの生演奏

キモチを動かす光。

観客を舞台上へ誘う。

去る10月17日、オーバード・ホールへ「ダンシングホームレス」の特別上映会を観に行った。路上生活経験者で構成されたダンスグループ「新人Hソケリッサ!」の姿を追ったドキュメンタリー映画で、国内外の映画祭などで高い評価を得た作品だ。

上映後には、出演者によるダンスパフォーマンスが行われた。その流れで、「皆さんも舞台に上がって踊りましょう」と観客に呼びかける主宰者のアオキ裕キさん。同時に舞台全体が明るく照らし出され、奥行きの広さが浮き彫りになる。観客が彼らと一緒に踊ることのできるサプライズが用意されていたのだ。だが、控えめといわれる富山の県民性。多くの人が立ち上がろうとしないのではと心配になったのも束の間、たくさんの人たちが次から次へと舞台上に上がっていく。明かりを浴びながら、広々とした空間で自由にのびのび踊る人たち。舞台に立ちたくなるような照明効果も、彼らの気持ちを動かしたのかもしれない。

観る人、立つ人、それぞれの視点で。

開演の数時間前、私は照明の仕込み作業を間近で見た。みんなに迅速かつ的確な指示を出していたのは、照明チーフ兼デザイナー・吉田仁美さん。さまざまな作業を経た後、彼女は観客席から舞台を見たり、舞台上で確認したりと、双方の視点を行き来しながら照明を入念にチェックしていた。仕込み作業は事前に彼女が考えた照明プランに基づいて行われている。だが、光の量や角度などに違和感を覚えた時には、すぐさま追加・修正するという。豊かな経験と想像力、確かな目、そしてギリギリまで質を上げようとする粘り強さが、観客の気持ちも動かすのだろう。思えば、舞台の奥行きを際立たせていたバックライトは、この時すでに仕込まれていたのだった。

作品と調和し、感動を。

これまで「照明スタッフの仕事＝現場作業」のイメージが強かったが、それは大きな間違いでデスクワークが約7割だという。演出家やプロデューサーの想いを汲み取って照明プランを考えることが、仕事の要だからだ。

10月30日には、テニスコート10面分を超える舞台上でヨガを体験できる「シアターヨガ」が開催された。参加者一人ひとりを包み込む明かりが幻想的な映像と調和して、非日常的な世界を創り上げていた。この企画のプロデューサーは、「劇場で自分と向き合う時間を提供したい、という思いを照明で叶えてもらいました。吉田さんは企画に寄り添い、難題にも柔軟に応えてくれるんです」と信頼を寄せる。イベントの参加者からは「スポットライトがあることで自分のテリトリーができてすごく集中できた」という声などが寄せられたという。吉田さんの仕事は、多くの感動につながっているのだ。

「この仕事には正解がないけれど、作品観と一体化した照明を目指しています」。そう話す彼女は劇場を支える一人として、これからもオーバード・ホールの照明を背負っていくのだろう。

舞台技術課・照明担当 吉田仁美
富山市出身。高校卒業後、東京の専門学校で舞台技術を学び、イベント会社の照明部でコンサート等のオペレーターとして働く。約1年この業界を離れたが、富山に帰郷し2008年にオーバード・ホールの照明スタッフとなる。

主催公演情報

1/15(Sat)・16(Sun) 音楽劇「海王星」富山公演

◆作＝寺山修司　◆演出＝眞鍋卓嗣
◆音楽＝志磨遼平（ドレスコーズ）
◆出演＝山田裕貴、松雪泰子 ほか
◆開演＝1/15（土）18：00　1/16（日）13：00
◆会場＝オーバード・ホール
◆料金＝[全席指定・税込] S席 13,000円
A席 9,000円　U-25 6,000円

好評発売中

2/12(Sat) 佐渡裕指揮　シエナ・ウインド・オーケストラ ≪ブラスの祭典 2022≫

©Takashi Iijima

吹奏楽の最高峰2作を一度に楽しめる！
◆曲目＝A.リード：アルメニアン・ダンス
J.バーンズ：交響曲第3番
◆開演＝14：00　◆会場＝オーバード・ホール
◆料金＝[全席指定・税込] S席 7,500円
A席 6,500円　U-25 2,000円（枚数限定）

好評発売中

2/18(Fri) 市民のためのランチタイム ジョイフル コンサート Vol.81

◆出演＝サクソフォンカルテット
谷道実子（S.Sax）、山井加奈子（A.Sax）、
加藤由貴（T.Sax）、竹下眞理子（B.Sax）
◆時間＝11：50〜12：50
◆会場＝富山市民プラザ　アトリウム
◆申込期間＝1月26日（水）〜2月1日（火）
◆定員＝120名（申込多数の場合は抽選）

入場無料・要事前申込

お申し込みは
こちら ☞

3/11(Fri) AUBADE HALL Presents プラネライブ つじあやの Live in プラネタリウム

やわらかな歌声とウクレレの響きを、美しい映像とともに。
◆出演＝つじあやの（ヴォーカル＆ウクレレ）
◆サポートミュージシャン＝坂和也（ピアノ）
◆開演＝19：00
◆会場＝富山市科学博物館
プラネタリウム
◆料金＝[全席指定・税込] 4,000円

会員先行発売日：1月29日（土）のみ
一般発売日：2月6日（日）〜

3/17(Thu) 反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ

◆出演＝反田恭平（ピアノ＆指揮）、
岡本誠司（ヴァイオリン）、
ジャパン・ナショナル・オーケストラ
◆曲目＝メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲第1番、
ヴァイオリン協奏曲
◆開演＝19：00　◆会場＝オーバード・ホール
◆料金＝[全席指定・税込]
6,000円　U-25 3,000円（枚数限定）

取扱枚数終了

3/28(Mon) 市民のためのランチタイム ジョイフル スペシャル コンサート Vol.82

◆出演＝庄司慧士（テノール）、間部栄司（ピアノ）、
朽木百花（フルート）、志村愛（ピアノ）、
西保奏詩亜（ピアノ）
◆時間＝11：50〜12：50
◆会場＝富山市民プラザ　アンサンブルホール
◆申込期間＝3月7日（月）〜11日（金）
◆定員＝140名（申込多数の場合は抽選）

入場無料・要事前申込

お申し込みは
こちら ☞

4/16(Sat)・17(Sun) ミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォール」

鹿賀ジョルジュ＆市村ザザ ラブフォーエバー！
永遠の夫婦愛で導く、固く結ばれた家族の絆！
◆出演＝鹿賀丈史、市村正親 ほか
◆開演＝4/16（土）12：00 ／ 17：00
4/17（日）12：00
◆会場＝オーバード・ホール
◆料金＝[全席指定・税込] S席 14,000円
A席 9,500円　B席 6,000円　U-25 4,000円

一般発売日：1月29日（土）〜

4/28(Thu)〜30(Sat) 日仏共同製作 新作舞台作品 束芋 × ヨルグ・ミュラー「もつれる水滴」

©watson studio

アートアニメーション×コンテンポラリーサーカスによる新作舞台作品、世界初演！
◆構成・演出＝束芋、ヨルグ・ミュラー
◆出演＝ヨルグ・ミュラー、間宮千晴
◆開演＝4/28（木）19：00　4/29（金）14：00
4/30（土）14：00
◆会場＝オーバード・ホール　舞台上特設シアター
◆料金＝[全席自由・税込] 一般 4,000円
U-25 2,000円

一般発売日：2月20日（日）〜

主催イベント情報

一期 2/4(Fri)〜8(Tue) ／ 二期 2/10(Thu)〜14(Mon) 第32回富山市美術作家連合会展 併催／第14回飛越交流美術展

富山市内を拠点に活躍する美術作家たちの作品を一堂に展示します。また、飛騨市との「飛越交流美術展」を同時開催します。
◆時間＝10：00 〜 17：00 ※最終日は16：00まで　◆会場＝富山市民プラザ

入場無料

2/14(Mon)〜17(Thu) 第18回オーバード・ホール　ベーゼンドルファー　ピアノ体験

オーバード・ホールの舞台で、ベーゼンドルファーを弾いてみませんか？
◆対象＝小学生以上
◆定員＝15組（1組3名まで）
◆会場＝オーバード・ホール
◆料金＝小・中学生無料、高校生以上は体験者1名につき1,000円（税込）
◆申込方法＝オーバード・ホールHPよりお申し込みください。
※申込多数の場合は抽選（当選経験が無い方を優先）
◆申込締切＝1月16日（日）

要事前申込

お申し込みはこちら ☞

U-25：25歳以下対象の座席指定券。座席はお選びいただけません。
公演当日、当日券窓口で身分証をご提示の上、入場券とお引換えください。
U-25：25歳以下対象の入場券。入場の際に身分証の提示が必要です。
※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

※情報は2021年12月24日現在のものです。新型コロナウイルス感染対策を徹底して上演します。感染状況によっては公演の開催に変更が生じる場合がございます。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いします。

AUBADE HALL calendar 2022.1〜4

アスネット …アスネットチケット取扱い
下記は2021年12月24日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。

1	15(土)・16(日)	音楽劇「海王星」富山公演	問 イッセイプランニング：076-444-6666 アスネット
	28(金)	中止 ニューイヤーコンサート2022 第18回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者ガラ・コンサート	問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
2	12(土)	佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ ≪ブラスの祭典2022≫	問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100 アスネット
	14(月)〜17(木)	第18回 オーバード・ホール ベーゼンドルファー ピアノ体験	問 オーバード・ホール管理課：076-445-5620
	20(日)	AUBADE SYMPHONIC WAVE 2022	問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
	23(水・祝)	小泉今日子TOUR 2022 KKPP（Kyoko Koizumi Pop Party）	問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	27(日)	富山シティフィルハーモニー管弦楽団 ファミリーコンサート	問 富山シティフィルハーモニー管弦楽団：http://toyamacpo.com/inquiry/ アスネット
3	5(土)	宮本浩次 TOUR 2021-2022 日本全国縦横無尽	問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	6(日)	EXILE ATSUSHI LIVE TOUR 2021 “Heart to Heart”（振替公演）	問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	11(金)	三山ひろしコンサート2022 〜歌の宝石箱〜	問 鵜飼興業：052-221-1166 アスネット
	17(木)	反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ	問 富山テレビ放送事業部：076-492-7106
	21(月・祝)	友井貴太郎コンサート スイングしようぜ！18	問 (有)友井音楽事務所：076-493-0684 アスネット
	26(土)・27(日)	楽市楽座 アート・ショーケース²	問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
4	6(水)	梅沢富美男＆研ナオコ アッ！とおどろく夢芝居	問 富山公演事務局：076-221-9015 アスネット
	16(土)・17(日)	ミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォール」	問 北日本新聞社事業部：076-445-3355 アスネット
	28(木)〜30(土)	日仏共同製作 新作舞台作品 束芋×ヨルグ・ミュラー「もつれる水滴」	問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット

ご来場のお客様へのお願い

- 会場内ではマスクをご着用ください。また手洗い、手指消毒の徹底にご協力ください。
- 平熱と比べて高い発熱や咳が出る等、体調に不安のある方は、来場をお控えください。
- 入場時にサーモカメラ、非接触型体温計等による体温チェックをさせていただきます。
- 客席、ホワイエ等でのご歓談、舞台への声掛け・ご声援はお控えください。
- 出演者などへの差し入れ、楽屋面会等はご遠慮ください。
- クロークサービス、ドリンクカウンター・冷水器、チャイルドシート・ひざ掛けの貸出しを中止いたします。

チケット購入方法

アスネットカウンターでお買い求めください。

インターネット
アスネットオンラインチケット
www.aubade.or.jp　24時間予約可能
※ご利用の際には会員登録が必要です。

電話予約
窓口販売
アスネットカウンター（オーバード・ホール1F）
TEL. 076-445-5511
10：00〜18：00
定休日：月曜（月曜が祝日の場合、翌平日休み）

オーバード・ホール会員システム「アスネット」

お得に楽しくシアターライフを満喫するためのオーバード・ホール会員システム。
ご登録いただくと、インターネットで24時間チケットのご予約が可能です。
「アスネット」には、「アスネット会員」「メール会員」2種類の会員システムがあります。

アスネット会員（年会費：1,800円） ※特典1、2については1公演につき通常4枚まで。対象外の公演もございます。

- 特典1 公演チケットの先行販売
- 特典2 公演チケットの割引販売 10%OFF
- 特典3 Mite Mite や公演情報の送付

メール会員（年会費：無料）

- 特典1 公演情報のメルマガ配信

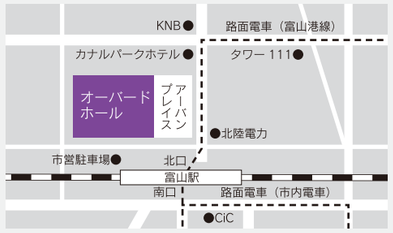
入会方法

- インターネットからお申込（オーバード・ホール HPより）
- アスネットカウンター窓口でのお申込（オーバード・ホール 1F）

オーバード・ホール公式SNSでは、主催公演などの最新情報を随時アップしています。ぜひフォロー＆いいね！してください♪

http://www.aubade.or.jp
オーバード・ホール
最新情報はHPをご覧ください

交通のご案内
鉄道利用：富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分



オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）
〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28
TEL.076-445-5620

ミテミテ71-2022.Winter号　発行日：2022年1月11日　発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団 TEL.076-445-5610　企画・編集：Mite Mite編集室　Design：CROSS　Cover Photo：Gaku Imadera

2.5次元への誘い

劇場は夢の国。その夢は時に次元を超える。3次元の世界に住む我らが、2次元の住人達と出会うためのマージナルな次元の中間地点へと、時に劇場は変容する。

何の話かと言えば――2.5次元の話だ。数学ではない。本来は2次元のマンガやアニメ、ゲームなどのキャラクターを、3次元の俳優がコスプレしたりアイドル声優を起用したりして具現化した舞台を「2.5次元」と呼ぶ。源流は宝塚の「ベルサイユのばら」だろうが、90年代にSMAPが演じた「聖闘士星矢」あたりがよりオタク文脈に沿うのだろう。

高校の頃にひょんなことから「美少女戦士セーラームーン」のミュージカルを見たが、長い銀髪を靡(なび)かせて立ち回りを演じた悪役クンツァイトの美しさに心臓を摑まれた記憶が鮮明にある。大山アンザや森野文子らが演じる主人公のセーラー戦士よりも華麗だった。確かにあの肉体は笠原竜司のものだったが、放たれるオーラは闇の王国の戦士そのもの、人外の魂が人の姿をとってそこにいた。

超人的な若きテニス選手を描くマンガ「テニスの王子様」や、古今の名刀が人に身を変えて敵と戦うゲーム「刀剣乱舞」のミュージカルがロングラン化し、志尊淳や横浜流星といったスターの活躍もあり、2.5次元はある程度定着したかにみえるが、やはり一部のマニアの世界という印象があるのは否めない。だが、人ならぬものが人として眼前に顕現(けんげん)する、これは舞台のひとつの醍醐味ではないか。舞台の中心で俳優の黒羽麻璃央が朗々と声をあげる時、そこには天下五剣の一振り〈三日月宗近〉が輝く。普段は東京国立博物館の奥に秘蔵される国宝の日本刀が、ゲームの世界で人の姿を纏って描かれ、それがさらに黒羽の演技力により現世に召喚される。そのとき観客の私達もまた、次元の狭間の存在と化す。三次元に生きることに疲れすぎた我らに、劇場がさらなる次元の夢を見せてくれる。

ひとならぬ刃が合歓(ねむ)を断つまでに舞台の呼ばふ正夢もがな

黒瀬珂瀾 Kurose Karan：
歌人。1977年、大阪府生まれ。春日井建に師事。読売歌壇選者。「未来」選者。他に[sai]、「鱧と水仙」に参加。歌集に『黒耀宮』(ながらみ書房出版賞)、『空庭』、『蓮喰ひ人の日記』(前川佐美雄賞)、『ひかりの針がうたふ』(若山牧水賞)。現在、富山市の浄土真宗本願寺派願念寺住職。